

令和2年度 7月号

令和2年6月30日発行

横浜市立東汲沢小学校

“輝け！ひぐみっ子” だより

～東汲沢小学校教育目標「学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子」～

☎861-5531 <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashigumisawa/>

ワクワク、ドキドキを大切に

副校長 丹野 一郎

梅雨空の下、雨に洗われた紫陽花の花が、目を和ませてくれます。また、畑のキュウリやトマト等の野菜も時を得たかのように、すくすくと育っています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の事態により、あっとい間に春が過ぎ去り、梅雨を迎えたような気がします。

東汲沢小学校は、6月1日～12日の分散登校を終え、6月15日からは、全学年が全員同じ時間に登校するようになりました。教室を見回ると、今まで会えなかった友だちとも会うことができようになり、一緒に学習する楽しさを感じている様子が、どのクラスにおいてももうかがえました。

東汲沢小学校では、横浜市教育委員会のガイドラインに沿いながら、段階的にひとクラスの人数を増やしたり授業時間を長くしたりと、少しずつ通常の生活に戻すようにしてきました。ひぐみっ子たちは、マスクを着用したり、手洗いをこまめにしたり、友だちとの距離を意識したりと、学校で決められたルールをきちんと守って生活することができました。その協力的な姿勢や態度はとても立派で、きっとご家庭でもお声かけをしていただけたからだと察しています。本当にご協力ありがとうございました。

そしていよいよ、7月1日から給食が始まります。ひぐみっ子たちも、職員も、ご家庭も？ 待ちに待った給食です。コロナ禍にともない、給食室での給食当番の密を避けることや、教室では向かい合わずに前方を向いたまま食べることなど、まだ完全に従来通りといった訳にはいきませんが、またみんなで給食を食べられることを、ひとまず喜びたいと思います。

さて、先日、2年生の生活科の時間に、学校のプールで「ヤゴとり」が行われるということで、私も授業に参加しました。2年生の子どもたちは、待機しているプールサイドから水面をじっと見つめながら「ヤゴはどの辺りにいるのかな？」「どうやって捕まえるのかな？」などとつぶやいていました。これらの言葉が表しているように、子どもたちは本来、知的好奇心、探究心が旺盛な存在だと思っています。

この好奇心は、学校だけでなく、地域社会、家庭、自然、全てが対象です。帰り道、まっすぐ歩けば早く家に着くのに、時折、あちらこちらの虫や花、あらゆる物に興味を奪われ、なかなかその歩を進めることができない姿は、まさにそのものだと思います。私たち大人が、推理小説や映画をみて、本や映画などの世界に入り込んだときと同じような状態ではないでしょうか。「ハテナ」という疑問をもって、課題を探究していくからこそ「なるほど、そうか」と実感を伴って理解できたり、感動したりできるのです。

無事にヤゴを捕まえた後も2年生の子どもたちは、ペットボトルに入ったヤゴを眺めながら「何を食べるんだろう？」「何でプールの水を使う方がいいんだろう？」など、次々と「ハテナ」をもち、「調べてみよう！」と自発的に動き始めていました。このような、子どもたちがワクワク、ドキドキしながら、新しい出会いを求めて動き始めるような動きかけをすることが、私たち教師に求められているのではないかと思います。

コロナ禍の影響により、教育活動が制限されることが、しばらく続くことになるとは思いますが、全校のひぐみっ子が、できるだけ好奇心いっぱい、そして成就感のある学校生活を送り、少し短くなりそうな夏休みを迎えられるよう、今月も取り組んでいきたいと思っています。ご協力よろしく願いいたします。